

ティーフェンゼー連邦交通相談話:アウトバーン渋滞時には、オートバイによる救急 用車線や路肩の走行を許可すべき ヴォルフガング・ティーフェンゼー交通相がベ ルリンのバイカーに挨拶

| | |
|------|--|
| 掲載日 | 2009年8月31日 |
| 国名 | ドイツ |
| 分類番号 | 交通対策 |
| 出典 | 連邦交通省 |
| タイトル | Tiefensee: Motorradfahrer sollen bei Autobahnstaus Rettungsgassen und Standspuren nutzen können Wolfgang Tiefensee begrüßt Biker in Berlin |

オートバイの人気は高まってきており、登録台数も増加している。多くのバイカーは、オートバイに乗ることによって個人の自由や生活の質が高まると感じている。

「オートバイを運転する皆さんの交通安全をより確実なものにすることは、我々の共通の目標です」と、ヴォルフガング・ティーフェンゼー連邦交通相は語った。「事故の巻き添えに遭うオートバイ運転者と同乗者の数は減少傾向にあります。2008年に交通事故に遭ったオートバイ運転者と同乗者の数は、前年比で合計12パーセント減少しました。私はこのような良い傾向が今後も続くものと信じております」

ドイツ国内の路上での交通事故によるオートバイ運転者または同乗者の死者数は、2007年には807人であったのに対し、2008年は656人だった。

アウトバーン渋滞時の救急用路線の使用に関する議論に触れて、ティーフェンゼー交通相は以下のように語った。「私はこの主張を支持し、オートバイ運転者の皆さんが、車の流れが止まってしまっている時には次の出口でアウトバーンを降りることが可能になるように尽力いたします。そのような場合には、救急用車線あるいは路肩を慎重に徐行するのが適当な方法と言えましょう。但し救急車輛が通る際は、もちろんそちらが優先されます。ADAC(ドイツ自動車連盟)が路肩の開放に賛意を表明していることも心強い限りです。交通安全は常に最優先で考えられなくてはなりません」